

2019年3月28日

高野医師講演会

私は日本でトレーニングを受けた腎臓専門医で、こちらで長くつとめております。総領事からお話があり、今日は講演することになりました。

このような機会を総領事館に設けてもらうのは初めてです。思いつく範囲でまとめてみました。

日本とこちらのいちばん大きな違いは、総領事の言うように、「冷たい感じ」が全体的な違いで、メンタリティーの違いが大きいので、それが分かっていないとストレスばかりたまると思います。そのため、本日は、

- 全般的な違い
- 家庭に近い医療サービス
- 薬局・薬剤師の役割
- 家庭医制度事情
- 家庭医がない場合のプライマリーケア，家庭医がない場合どうしたらいいか
- 急患室の役割，急患室をどのように使ったらいいか
- 高度医療・介護医療はどうなっているか

についてお話しします。

まず、お断りですが、

- 日本を離れて25年になりますので、日本医療の現状は把握していません。
- 故に、正確な日加の対比はできません。
- 特に、医療制度の専門家ではありませんので、自分の経験と調べた範囲に基づいたことしかお話できません。
- カナダは州ごとにシステムが違う点多々あります。お話しするのはケベック州、特にモントリオール周辺のシステムになります。

以上をご了承ください。

話の前に、クイズです。次の質問は正しいでしょうか、誤りでしょうか。

Q1: カナダの医療レベルは日本に劣ります。

誤り： カナダは日本やアメリカと同等の医療先進国です。

私自身は日・米・加と3つの医療システムに関わっているので、そういう経験を持って

いる人にとっては答えは明らかですが、日常の経験でははっきり分からないと思います。これは明らかに誤りで、カナダは非常に高い医療レベルを持っています。日本の研修生も、カナダで研修したい人がたくさんいます。

Q2: カナダでの医療システムへのアクセスは日本に劣ります。

正解: カナダでは医者にかかるのは日本より手間と時間がかかります。

エネルギーがかかります。

Q3: カナダに住むのは健康上危険です。

誤り: 重篤な疾患にかかった場合は適切な治療が受けられます。

最終的に、カナダに住むのは健康的に問題があるか、ということはありません。大きな怪我、重篤な疾患にかかった場合は、非常に高度で適切な医療が受けられます。

全般的な違い 1

- Medicare カードを持っている場合、医療費は基本公的負担（一部私的保険もあり）です。
- 一部の Private clinic を除いて営利目的ではない。
 - • • 日本の開業医は営利目的で競争がありますが、ここでは競争がありません。
- よって医療機関の間での競争はなく、顧客サービスは期待しない方がよい。
 - • • お客様へのサービスというメンタリティーはゼロなので、ここに「冷たさ」を感じるのだと思います。
- 完全医薬分業なので医師側に過剰な処方をする理由がない。
 - • • 日本でも進んできていますが、ここでは完全な医薬分業です。日本では、少しの病気でかなりの種類の薬が出されますが、ここでは必要なもの以外は出されません。
- チーム医療なので医師以外の医療従事者の役割・責任が大きい。
 - • • 日本では医師がすべて責任を持ち、すべて医師に問い合わせなくてはなりません。ここではそうではなく、たとえば看護師にも、さまざまな種類があります。ナースプラクティショナーとって、処方できる看護師もいます。

全般的な違い 2

- 軽度の症状では簡単には医者にかからない。
 - • • いちばん大きな違いがこれで、普通の風邪ではまず医師にかかりません。
- 医療者側から見て軽度と判断された場合は患者側の不満が大きくなる場合が大多数。
 - • • 待たされて結局何もしてもらえない、というケースがあります。
- 逆に重度の疾患の場合は適切な対応が期待できる。特に急性期。
 - • • 迅速な対応がされます。
- システムが雑なので権利は主張して損はない（自己防衛）。
 - • • きめ細かく丁寧な対応は期待できません。質問したいことは、メモして聞くようにします。自分が受けたいと思った検査は主張します。待たされていて忘れられていると思ったら、聞いてみることです。

医療システムについて

リンク紹介

Health Service Organization in Quebec (General overview)

<https://www.quebec.ca/en/health/health-system-and-services/service-organization/>

*ケベックの健康や社会システム、その他の情報が探せます。

家庭に近い医療サービス 1

Info Santé 811

<https://www.quebec.ca/en/health/finding-a-resource/consult-a-professional/info-sante-811/>

例えば、次のような時に使えます。

*インフルエンザにかかったようだが、数日かかっても良くならないので、医者に行った方がいいか。

*子供が高熱だが、救急受診した方がいいか。

*虫に刺されたがどうしたらいいか。

これは利用価値のあるサービスだと思います。英語でも対応が可能です。

家庭に近い医療サービス 2

CLSC (centre local de services communautaires)

<http://www.sante.gouv.qc.ca/en/repertoire-ressources/clsc/>

インフルエンザ予防接種, Medicare カードの更新, 家庭医, 産後の家庭訪問, 訪問看護, 他多数のサービス (無料) が受けられます。CLSC は保健所とって良いでしょう。

それぞれの CLSC によってサービスが異なります。CLSC はケベック独自のサービスで、このリンクから、自宅の近くの CLSC が見つけられます。

インフルエンザ予防接種は CLSC で、無料で受けられます。また、B 型肝炎等の旅行者用の予防接種も出来ませんが、Medicare カードを持っていることが必須条件です。自宅近くの CLSC でのサービスを確認しておいてください。

薬局・薬剤師の役割

- 症状に応じた薬を勧めてもらえる。
- 予防接種は薬剤師の管轄（有料）。
- 血糖のモニター、血圧測定器、その他家庭で使える医療器具も薬剤師の管轄。
- 薬や器具のことは医者より薬剤師の方が良く知っているといっても良い。

ケベックでは、薬剤師の資格はプロフェッショナルオーダーによって管理されており、薬剤師もきちんとトレーニングされています。定期的に追加トレーニングを受け、最新の薬剤、モニター等の器具についてよく知っています。近所の薬局で信頼できる薬剤師を見つけておくと安心だと思います。

予防接種も薬剤師の役割で、アドバイスもしてもらえます。大きな薬局では看護師がいる日があり、そこで予防接種が可能です。有料ですが、高額ではないので、無料のものを受けられなかった時は、薬局で受けるのもひとつの選択です。また、コンサルテーションを薬局でも受けられます。

薬局は、必ず薬剤師がオーナーです。そこにアルバイトなどで勤務の薬剤師が働いています。基本的に、薬剤師は同じ勤務時間帯に 1 名しかいません。ほかの職種と一緒に働いていますが、薬剤師は非常に忙しいので、待ち時間が必要です。ただし医師を待つより早いと思います。

家庭医制度事情

家庭医への登録

<https://www.quebec.ca/en/health/finding-a-resource/consult-a-professional/registering-with-a-family-doctor/>

家庭医への登録には、Medicare カードが必要です。また、待ち時間が長い（健康な人なら一年以上）。在住期間が短い人にはあまり役に立たないと思います。

家庭医がないということが、ここでは問題になっています。家庭医が絶対的に不足している状況です。サイトの「家庭医を探す」というところでオンライン登録が可能です。また、子供は 14 歳から申し込みが可能です。

家庭医がない場合のプライマリーケア 1

- Private clinic, walk-in clinic を上手に使う。

例： Rockland MD

Radimed Westmount square (imaging)：レントゲン・CT 可能

現実的には家庭医がない場合がほとんどだと思います。その場合に、薬局では対応できず医師にかかることをすすめられたなどという時は、プライベートクリニック、ウォークインクリニックが挙げられます。

公的な機関は無料ですが、プライベートクリニックは有料です。ただ、よほど高額にならないければ、ストレスは少ないと思います。

家庭医がない場合のプライマリーケア 2

保険があまりない場合、お金をかけたくない場合には、次の公的機関が挙げられます。

GMF (Groupe de Medicine de Famille/Family Medicine Group)

- <https://www.quebec.ca/en/health/health-system-and-services/service-organization/family-medicine-group-fmg-u-fmg-and-super-clinic/>

家庭医のグループです。家庭医の方々がグループとして順番にクリニックを開いています。基本的に予約制ですが、場所によっては予約不要なところもあります。

Super-clinic (8h-20h)

- <https://www.quebec.ca/en/health/health-system-and-services/service-organization/family-medicine-group-fmg-u-fmg-and-super-clinic/super-clinic/>

スーパークリニックは、市内に多くあり、基本的に 8 時から 20 時までが開業時間です。予約不要で、日本で言う開業医に一番近い形です。このリンクで検索が可能です。待ち時間はそのときによってまちまちです。

急患室の役割

- Triage は基本的に生命への危険によって振り分ける。

- ・・・客観的に見た生命の危険によって振り分けられます。
- Triage の結果によって、超長時間の待ち時間を覚悟を。
- 待ち時間は安心料。

【個人的経験】

1. 3 歳の男児→口唇をはさみで誤って切る。出血は止まっていた→果てしない待ち時間のあと真夜中過ぎに諦めて帰る。
2. 5 歳の男児の上腕骨折（神経損傷の危険あり）→1 時間以内に手術室へ
3. 70 歳の女性→足首の骨折→すぐにレントゲンと仮固定はしてもらえた。だがギブスをするのに 4 時間待ち（その後の CLSC の訪問看護など、手厚い支援が手配された）
4. 8 歳男児の足首捻挫→7 時間待ちの上、さらにレントゲンで数時間待たされる。

急患室とは、

- 行くのは本当に心配な時、専門的な処置が必要な時に限定。
- 重篤な場合は迅速かつ適切な対応が期待できる。
- ただし、重篤でない場合は待ち時間を覚悟。

たとえば軽度の出血などは CLSC で手当が受けられるので、CLSC のサービスを把握しておいたら良いでしょう。

高度医療や介護医療

カナダでは高度医療に多くの人材が投入され、家庭医は少ない状況があります。

- モントリオール市内では 2 つの大学病院が高度医療を担っている（MUHC と CHUM）。*非常に高レベルです。

例： MUHC-RVH

心臓・肝臓・腎臓移植

腫瘍内科・外科

心臓外科（バイパスや弁膜手術）

血管外科

ECMO（体外膜交換式血液酸化）

急性期医療のほかにリハビリ・長期収容病院・家庭訪問医学・理学療法等すべて無料です。ただし、このような高度な医療は短期的な滞在者にとっては、あまりメリットはないでしょう。高度な医療が必要な人にはサービスが多く提供されます。

まとめ

- ケベックでは、開業医や小さな個人病院の数が少なく、医療へのアクセスの敷居が高いように感じられる。
- だが、実際に利用できるサービスは数多くある。
- 医療のレベルは日本と全く遜色がない。
- 日本との違いを受け入れて利用できるサービスを臨機応変に使う。
- 自立と権利の主張を忘れずに。

*JAMSNET-CANADA の紹介

医療従事者の情報交換のネットワークです。

以上